



中高生フォトグラファー応援マガジン

boys & girls photo magazine

2019 2-3

TopEye

300号&40周年



第190回
TopEye
賞

「Sleeping time」八幡 梨央花

[沖縄県立浦添工業高等学校 2年]

顧問の先生・
部員の皆さんで
ぜひ、回覧して
ください!



2018年度
「TopEyeフォトコンテスト」
年度賞発表!

全国15校が横浜で写真対決!

TopEye全国高校生
写真サミット2019 密着レポート



TopEyeは
創刊40周年!

中高生写真を応援してきた
歴史をちょっとだけ
Playback!

ガンバレ写真部!
のどかなキャンパスで、写真ゴコロ磨きまくり!
東京都立瑞穂農芸高等学校

視想講座 VOL.293
光を「読めば」、写真はずっときれいになる
今道しげみ



「TopEyeフォトコンテスト」受賞作品
(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロード
ができます。ぜひご覧ください!

ニコ トップアイ

検索

ご愛読&応援ありがとう TopEyeは300号&40周年!!

中高生フォトグラファー応援マガジン『TopEye』は1979年1月に創刊。
全国の中学校・高等学校の写真部などに無料でお届けし、今号で40周年を迎えました。
ご愛読くださる生徒の皆さんと先生方、本当にありがとうございます!

写真家の方々からお言葉をいただきました



小林 紀晴 氏

現・TopEyeフォトコンテスト審査員
(2014年～)

人間の変わらぬ本質を
今の若い眼差しで捉えよう

『TopEye』40周年、さらには300号発刊おめでとうございます。
40年の長きにわたり続いている雑誌というものは、そうありません。関わった中高生の方々の数、寄せられた作品の数はどれほどでしょう…。膨大であることは間違いありませんが、作品の内容もそのときどきの時代を反映させているのではないのでしょうか。モノクロフィルムや暗室での現像が当たり前だった時代から、現在のデジタルへ。一方で、被写体の本質はそれほど様変わりしてはいません。風俗、流行というものは時代とともに変化していきますが、人間の普遍的な部分は決して変化しないと思うからです。例えば青春という言葉が色褪せないように。現役の中高生の皆さん、ぜひ、そんな変わらない部分をカメラに収めてください。もっとも愛おしいものがひそんでいてと思うからです。

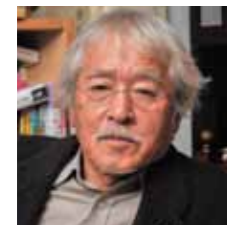


藤岡 亜弥 氏

現・TopEyeフォトコンテスト審査員
(2018年～)

「こうでなければ」を
打ち破る写真を

小林紀晴先生と一緒にこの一年審査をさせていただきましたが、40年もの歴史があるとは初めて知りました。遅ればせながら40周年おめでとうございます。
審査は自分の目が試される責任ある仕事でもあり、毎回悩みながらやっていますが、このような形で高校生と関わられることをうれしく思っています。審査はまた、新しい作品に出会い、写真とは何かを考える充実した時間でもあります。『TopEye』に応募される写真は驚くほど多様で、何を基準にすればいいのか迷うこともあります。今や、写真はうまい・へたという観点だけでなく、それぞれに大切な記憶や記録が宿っているはずなので、審査ではできる限りそれを感じ取っていきたくと思っています。「写真はこうでないといけない」という形を打ち破ることを楽しんで、それぞれの青春を切り取ってください。これからもみなさんの写真を楽しみにしています!



土田 ヒロミ 氏

元・「フォトフォトサロン」審査員
(1983年～1992年)

デジタル映像の世界で
おおいに遊び、学ぼう

カメラが発明されて180年ほどになります。その間さまざまな進化はありましたが革命的な事件はデジタル化です。2000年以降、生産現場、情報通信など産業界でデジタルテクノロジーが加速。カメラも例外ではありませんでした。まさに君たち高校生活徒の誕生期と重なります。皆さんはデジタルの申し子です。デジタルカメラは、容易に美しく撮れることもさることながら、そのデータを離れた友達に簡単に送信して語り合えます。普段、楽しんでいるこのシステムは、文明的には革命的なことなのです。ある日、独り言のようにSNSで発信した一枚の写真が瞬間に何十万、何百万の人々に広まり、政治文化や言葉や世代を越えた共感を得るというニュースを耳にしたりしますよね。そんなコミュニケーションをもたらす写真映像とは一体何だろう?実は、皆さんはそんな重要なことを学んでいるのです。おおいに、遊ぶように学んでください。



大西 みつぐ 氏

元・「フォトフォトサロン」審査員
(2001年～2014年)

目の前の世界に立ち会う
まなざしに、今後も期待

40周年おめでとうございます。この『TopEye』の若い日々と私のそれとは見事に重なり、数々の思い出がそこにあります。審査だけでなく、いくつかの学校を訪問して撮影会や組写真講座などを行ったこともあります。まだまだ部員数も少なく、デジタルカメラも登場していない頃ですが、当時の高校生の皆さんの澁刺とした姿は、現在の写真部活況の源だったと思えます。
全国的に写真部活動が目立ち、高画質の写真が撮れる時代になり、ますますみなさんのキラキラしたまなざしが期待されていますし、その機会も多いでしょう。コンテストの「勝ち負け」にこだわらず、カメラを持って、目の前の世界、出来事にしっかり立ち会ってみることで、明日をゆっくり紡いでいって欲しいです。そして、ずっと「写真」を続けて下さい!

名物企画は
あの頃
始まった!

TopEye フォトコンテスト40年

『TopEye』が創刊以来大切にしているのは、写真を楽しむ中高生との交流と情報提供。結構早いうちから続いている企画もあるんですよ～!



創刊号
1979年
1月発行

このころ TOPIC

こんなもので音楽を聞いてた!
携帯音楽プレーヤー
「WALKMAN」
カセット式
(1979年初代機発売)



1979

最初は単色刷り・
8ページ



このころ TOPIC

ゴツい形がかっこいい
G-shock
(1983年初代機発売)



10周年
100号
1989年
2月発行

1989

10年でちょうど
100号!

TopEye フォトコンテスト

1979年2月(2号)「フォトフォトサロン」として開始
写真コンテストも40年間継続中!左ページでコメントをくださった歴代審査員の先生方が、中高生ならではの視点と感性に感心したりうなったりしながら、審査を続けています。

このころ TOPIC

電子ゲーム
「たまごっち」
大人気!
(1996年
初代機発売)



1999

TopEye 全国高校生 写真サミット

2013年2月(270号)開始
TopEyeフォトコンテスト上位校を横浜に招き、2日間に渡る作品づくりでグランプリを競う「冬の大会」も7回目。今号にも関連記事がありますので、ぜひ見てね!!

20周年
200号
1999年
2月発行



フルカラー&隔月刊化!

ガンバレ 写真部!!

2006年4月(236号)開始
北は北海道から南は沖縄まで、部員4~5名の少数精鋭部から50名以上のマンモス部まで、続々訪問してご紹介。近いうちに、あなたの学校も登場するかも!?

いろんな角度で、写真好きな
中高生を応援!

TopEye
デジタル写真教室
2006年6月(237号)開始

TopEye
OB/OG訪問!
2010年4月(256号)開始

30周年
250号
2009年
2月発行



歴代の表紙を使ったデザイン!

このころ TOPIC

高校生もスマホを
持ち始めた!



2009

これからも、全国の「中高生フォトグラファー」を
熱く応援していきます。よろしくね!!

2018
年度

TopEye フォトコンテスト 年度賞 受賞校発表!!

学校ごとの個性を見る楽しみ／審査員 小林紀晴

最優秀賞には和歌山県立神島高等学校が選ばれました。根強い強さを今年も見せてくれました。神島高等学校の特徴はなんといっても層の厚さでしょう。組写真には定評がありますが、単写真も個性的です。優秀賞の沖縄県立浦添工業高等学校も常連校ですが、独自の視点にいつも驚かされます。特筆すべきは敢闘賞に東京都立総合芸術高等学校が入ったことです。東京の高校が上位に入るのは私が審査をするなかでは初めてのことに、嬉しく思っています。

自分らしく青春を切り取って／審査員 藤岡亜弥

この一年、4回の審査を通してみなさんの写真を見てきましたが、写真は自分が好きな先生や、一緒にやっている仲間にも大きく影響されるんだなと思いました。いい仲間と写真展を観に行ったり、一緒に撮影に行き楽しい時間を過ごすことで写真が楽しくなり、夢中で撮るうちにいい作品ができるのだと思います。誰かに写真を見てもらったりコンテストに出したりするのは上達する秘訣だと思います。ぜひこれからも自分らしく青春を切り取ってください!

最優秀賞

和歌山県立神島高等学校

賞品／賞状、桶、D7500 18-140VR レンズキット、エプソンプリンター SC-PX5V II
部員数：25名
部長：宮崎美奈さん(2年) 副部長：實槌 ちひろさん(2年)
顧問：恵納崇先生、太田哲朗先生



喜びの声!

TopEyeフォトコンテストに神島写真部は鍛えられてきました。新しい写真って何だろう。見たことのない写真ってどんな写真だろう。今後も毎日考え続けていきたいです。小林先生、藤岡先生ありがとうございました。

他校へエール!

2月の「写真サミット2019」でもたくさんつながりができました。作品を通して、刺激しあひながら高めあっていきましょう

受賞のヒケツ!

今年度は、写真を観ることを大切にしました。古今東西、新旧いろんな作品から学び、写真に対する理解を深めていきたいです。

先生も一言!

今年度の生徒の特徴は、とにかくよく食べる。動き回って、食べて、撮って、食べて。神島の写真はスタミナ勝負なところがあるので今後が楽しみです。食欲も写真も、特盛でいってあげようと思います。

編集部から

TopEyeデビューしてから毎回の年度賞、しかも今回は2年連続最優秀賞。そんな皆さんが日々の写真活動を楽しむお手伝いができて、TopEyeも幸せです。今後も傑作をよろしく!



ピザは丸いので太りません。

恋よりやきそば。

麺は地球を救う。

花よりハンバーガー。

最前列：中井千尋さん(1年)、日川彩貴さん(1年)、十林穂乃香さん(1年)、岸佑香さん(1年)
2列目：田川桃香さん(1年)、楠本遥香さん(1年)、下浦菜緒さん(1年)、川邊陽菜さん(1年)
3列目：芝田菜穂さん(1年)、岡崎ひなたさん(1年)、伏見凜音さん(1年)
4列目：栗川夏帆さん(2年)、山本莉乃さん(2年)、濱田あかねさん(2年)、松山響子さん(2年)
5列目：中嶋悠大さん(2年)、宮崎美奈さん(2年)、實槌 ちひろさん(2年)
6列目：坂本望愛さん(3年)、垣城明優さん(3年)、島倉葵さん(3年)、土山日菜恵さん(3年)
最前列：平阪瑠菜さん(3年)、松下莉子さん(3年)、岡田あかりさん(3年)

優秀賞

賞品／賞状、桶、D5600 18-140VRレンズキット、エプソンプリンター EP-10VA



沖縄県立浦添工業高等学校

部員数：18名 部長：玉城姫菜乃さん(2年) 副部長：儀間梨々香さん(2年)
下地絵里さん(2年) 顧問：仲真富夫先生、大城仁美先生



最前列：仲真 富夫先生(顧問)、大城 聖南さん、井口 咲幸さん、仲盛 友梨さん(以上1年) 大城 仁美先生(顧問)
2列目：下地 絵里さん、八幡 梨央花さん、玉城 姫菜乃さん、仲村 咲乃さん、目取真 穂花さん、津波古 真琴さん、親川 輝一さん(以上2年)
最前列：儀間 拓海さん、島袋 鈴奈さん、佐久川 太陽さん、我那覇 日菜さん、長浜 兵生さん、比嘉 夏子さん(以上3年)
円内：上原 美心さん(1年)、儀間 梨々香さん(2年)

喜びの声!

優秀賞を頂くことができ、とても嬉しいです!部員全員が頑張り、顧問の先生の支えもあって受賞できたと思います。この賞を励みに、色々な写真に挑戦しながら、来年はもっと良い作品が出せるよう頑張ります。ありがとうございました。

他校へエール!

皆さんの写真をTopEyeで見るたびに、驚かされたり感動したり、日々刺激を受けています(負けないぞ!)。これからも、ともに素敵な写真を撮っていきましょう。

受賞のヒケツ!

いつでもどこでもたくさん撮ることです。技術的なことに縛られずに自分が取りたい写真をいっぱい撮りました。Be friends with Cameras!

先生も一言!

部員皆で受け取ることでできる賞をいただき、大変嬉しく思っています。現部員はもちろん、卒業した部員たちも含め皆で掴んだ賞だと思います。これからも生徒、顧問一同楽しく真剣に写真に向かっていきます。ありがとうございました。

編集部から

今年度はなんとTopEye賞を2度受賞!素晴らしい写真力を改めて見せてくれました。鋭いカメラアイとあったかい地元愛で、今後も写真旋風を巻き起こしてくださいね!



緊張と期待のセレクト作業。



恒例の夏合宿、ヤンバルの森で川遊び!



サトウキビ畑で夏発見!!



コンテスト出品作品を部内でプレゼンテーション。

2018年度 年度賞の選考について

2018年6-9月号から2019年2-3月号まで、4回分の「TopEyeフォトコンテスト」への応募を対象に集計しています。採点項目は①TopEye賞 ②準TopEye賞 ③入選 ④佳作 ⑤準佳作 ⑥皆勤校ポイントからなり、各項目の合計ポイントを算出。ポイント1位が最優秀賞、2位が優秀賞、3位が敢闘賞となっています。

敢闘賞

賞品／賞状、桶、D3500 18-55VR レンズキット、エプソンプリンター EP-30VA



東京都立総合芸術高等学校

部員数：9名 部長：毛部川 天さん(2年)
顧問：宮坂 純子先生、堀 鐘先生、大久保 至先生、庄司 美子先生



中央：柚木 日菜子さん(2年)、毛部川 天さん(2年)
周囲：望月 優美さん(1年)、高田 満帆さん(1年)、松田 華凌さん(2年)、益子 実々さん(1年)、田中 曉穂さん(1年)、北本 李奈さん(1年)、森本 花蓮さん(1年)

喜びの声!

まさかこの総芸が敢闘賞をいただけるとは思っていませんでした。嬉しいです。嬉しいというより驚きです。奇跡です。これからもたくさん写真撮っていきます。

他校へエール!

みなさんの写真、すごく上手くていつも勉強になっています。これからもお互い刺激し合おう。

受賞のヒケツ!

素直に「撮りたい」と思った時に撮ることが一番だと思います。

先生も一言!

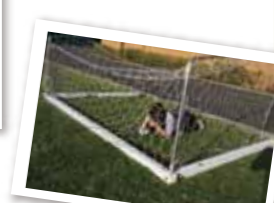
部員は美術科と舞台表現科に所属する生徒たちです。日頃、課題や練習に追われる日々の中、部活に取り組んでいます。これからも、観てくれる人が楽しんでくれるようなユニークな作品を楽しく制作していくと思います。

編集部から

今年度最初に初入賞...と思っていたら、あれよあれよのTopEye賞、そして年度賞。さっそうたる「期待の新星」の登場、うれしい限りです。来年度はどんな世界を観せてくれるのかな?!



活動日は週2回ですが、他の日にもいろんな場所で撮影しています。学校には写真スタジオや暗室もあり!



TopEye賞



賞品

- ・ニコンデジタル一眼レフカメラ D3500レンズキット
- ・賞状



「Sleeping time」 八幡 梨央花

沖縄県立浦添工業高等学校 2年

- D5500
- AF-S DX18-55mm
- M (1/640秒・f/6.3)
- ISO400

よく見るとグラウンドの脇にも寝転がった男子生徒が…。彼らは野球部員でしょうか。こんな作品を見つると、学校っていいなあと思います。独特の時間と空気が流れていると感じさせてくれるからです。おそらく、放課後のひと時でしょう。卒業してから思い出すのは、こんななに気ない瞬間や、交わした言葉だったりするのかもしれませんが。ベタな表現ですが、青春という言葉が浮かびます。つまり「普遍」がここには写されているのです。(小林)

表紙に大きく載ってるよ!!

第190回 TopEye賞 受賞

八幡 梨央花さん

受賞のコトバをどうぞ!!



この度はTopEye賞に選んでいただきありがとうございます!!いまだに信じられないぐらい、賞に入った時は驚いて、声も出ませんでした。とっても嬉しいです。この写真は私自身もとても気に入っている写真で、手前では写真部がくつろいで寝ていて、奥では野球部が疲れて寝ているという場面が面白くて撮りました。これからも、高校のうちでしか撮れないような写真や面白い写真を撮っていききたいと思います。本当にありがとうございました!

準TopEye賞



賞品

- ・ニコンデジタルコンパクトカメラ W300 OR (オレンジ)
- ・賞状

「光跡」佐々木 陸玖

北海道帯広工業高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-135mm
- M(1/2秒・f/11)
- ISO800

ここは北海道、何の変哲もない無人の踏切です。雪が舞っています。列車が通過していく瞬間に2分の1秒でシャッターを切りました。おそらく三脚に据え、ストロボを焚いたのでしょう。列車の姿は見えませんが、窓からの明かりがその痕跡を刻みました。列車は時間と空間と人を乗せて通過していった…そんなふう感じられます。だから写真を撮る者は、ふと何かに取り残されたように感じるのです。(小林)



審査員 藤岡亜弥

審査員 小林紀晴

広島生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。主な作品に、「さよならを覚えて」「私は眠らない」国内外での個展など多数。2017年に出版した写真集「川はゆく」で伊奈信男賞、林忠彦賞、木村伊兵衛写真賞受賞。

1968年長野県生まれ。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞、2013年「写真展「遠くから来た舟」」で第22回林忠彦賞受賞。雑誌、広告、TVCF、小説執筆などポータルに活動中。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。

学校を舞台とした写真のさらなる可能性

小林 紀晴

今回の審査を終えて印象に残ったのは、単写真で素晴らしいものが目についたことです。例えば、平井あささんの「逆光」という作品。スポーツ写真ですがとても高い技術で撮影されており、驚くとともに頼もしく感じました。一方、野球部の練習を切り取った西小野涼香さんの「Dream chasers」という作品は、スポーツを捉えた点では同じですが、まったく違うテイストです。改めて見てみると、「TopEye賞」に輝いた八幡梨央花さんの「Sleeping time」という作品も含めて、どれも校内で撮られたものです。校内には当然ながら撮影の制約がありますが、アイデアや視点次第でまだまだ作品が生まれる可能性、余地が残されていると再確認させられました。

入選

賞品

- ・ニコンオリジナルグッズ FLX トートバッグ
- ・賞状



「千本浜の元旦Ⅲ」加藤 春樹

加藤学園暁秀中学校・高等学校(静岡県) 中学1年

- デジタル一眼レフカメラ ●18-270mm ●P オート
- 露出補正 -1.0EV、-1.0EV、-0.7EV、-1.0EV ●ISO100、100、100、200

今年の元旦の寒中水泳の写真だそうです。空と海の青が印象的でお正月の清々しさを感じます。全体の状況もわかる引きの写真とクローズアップ、そしていいポートレートでその地域ならではの行事をしっかりと組写真にしました。中学生もがんばってる!(藤岡)



「逆光」平井 あさ

熊本県立第二高等学校 2年

- D5500 ●AF-S DX55-300mm ●オート ●ISO800

選手がシルエットとなり表情が見えないぶん、水しぶきに目がいき、さらにドラマチックな写真になりました。スポーツ写真は意外に少ないので、新鮮でもありました。(藤岡)



「思い出」楠本 遥香

和歌山県立神島高等学校 1年

- デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
- Aオート (f/8) (4枚とも)
- 露出補正 -1.3EV、-1.3EV、-2.3EV、-2EV
- ISO800、400、800、400

解体する前の家を撮らせてもらったのですが、家に染み付いた歴史や、消えていくものへのせつない眼差しが表現されています。ストーリー性のあるいい組写真です。(藤岡)



「農高」野極 麻弥

静岡県立田方農業高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
- M (1/250秒・f/8) ●ISO100

キャベツ畑で女の子が二人楽しそうに畑仕事。その奥でくわを持った男の子。背景には走る電車と富士山まで写っている!まるで農業推進のポスターにもなりそうな、絵になる一枚です。(藤岡)



「Dream chasers」西小野 涼香

広島県立広島商業高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ ●16-300mm
- M(1/600秒・f/5) ●ISO400

野球部といえば、泥まみれ汗まみれのイメージがありますが、淡い色合いとスッキリした画面構成のせいで、みずみずしく都会的な雰囲気の写真になっています。(藤岡)

受賞ポイント

- TopEye賞 ……100ポイント
- 入選 (5作品、うち組写真最大2作品) …… 50ポイント
- 準佳作 (20作品) …… 20ポイント
- 準TopEye賞 ……70ポイント
- 佳作 (10作品、うち組写真最大3作品) …… 30ポイント
- ※全4回に出品された学校には、さらに【皆勤校ポイント 20ポイント】を加算!

準佳作
・賞状



「食べ!遊べ!笑え!」

山根 はな

山口県立下松高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm
●1・2・4枚目:Aオート(f/4.5、f/9、f/5) /
3枚目:Sオート(1/125秒)
●ISO3200、1600、3200、3200

佳作

賞品
・ND オリジナル
リバーシブルポーチプロ
・賞状



「面影」西尾 水実

東京都立八丈高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●M(1/1000秒・f/4) ●ISO1600



「超スピード」萱原 進之介

香川県立坂出商業高等学校 3年
●D7500 ●AF-S DX18-140mm
●M(1/5秒・f/4) ●ISO100



「気合い」田中 瞭那

関市立関商工高等学校(岐阜県) 1年
●D3100 ●AF-S DX18-55mm
●Aオート(f/8) ●ISO800



「遊びたがりな彼女」
成瀬 夢

帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校 3年
●D750 ●AF-S 24-120mm
●Aオート(f/4)(3枚とも)
●露出補正 -2EV(3枚とも)
●ISO1600(3枚とも)



「富実写真部漫遊記〜B級グルメを食いつくせ!編」熊谷 翼

群馬県立富岡実業高等学校 1年
●1・3枚目:D500/2・4枚目:デジタル一眼レフカメラ ●Aオート(f/25、f/8、f/11、f/8)
●1・3枚目:AF-P DX10-20mm/2・4枚目:10-18mm ●ISO3200、100、3200、100



「企み」三浦 真依

神奈川県立瀬谷高等学校 3年
●D5300
●AF-S DX18-55mm ●Aオート(f/5.6)
●露出補正 -0.7EV ●ISOオート



「いたずら」間野 鈴菜

高崎市立高崎経済大学附属高等学校(群馬県) 1年
●D5300 ●AF-P DX18-55mm
●M(1/800秒・f/3) ●ISO250



「泡沫」稲村 春輝

広島県立庄原格致高等学校 2年
●デジタル一眼カメラ ●55-200mm
●Aオート(f/5.6) ●ISO800



「頭から2次元」舟橋 奈槻
愛知県立小牧南高等学校 1年



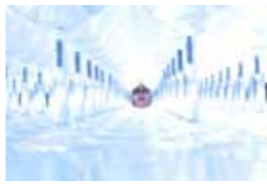
「道半ば」上野 睦生
福井県立丹生高等学校 3年



「セバレート」岡本 美咲
大阪府立生野高等学校 2年



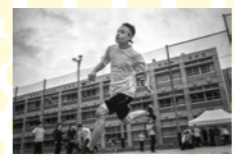
「冬は寒いので僕は川にかえる」石井 百香
群馬県立富岡実業高等学校 1年



「深層心理」島田 美琴
香川県立坂出商業高等学校 2年



「狂乱Girls」和田 夏依
中越高等学校(新潟県) 2年



「本降りになる前に」岡山 優風
奈良県立王寺工業高等学校 1年



「空中散歩」佐久川 太陽
沖縄県立浦添工業高等学校 3年



「待つ」岡崎 ひなた 和歌山県立神島高等学校 1年



「撮影会」北本 李奈
東京都立総合芸術高等学校 1年



「長生きの秘訣」阿部 拳士朗
宮城県白石工業高等学校 2年



「beach family」成瀬 夢
帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校 3年



「被服」佐藤 涼太
山形県立山形南高等学校 2年



「煌めき」玉城 姫菜乃
沖縄県立浦添工業高等学校 2年



「秘密基地への抜け道」
真鍋 里奈
大阪府立東百舌鳥高等学校 1年



「彩」木村 奏
北海道帯広工業高等学校 3年



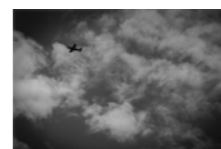
「フェイク」加藤 舞
広島県立広島井口高等学校 1年



「Shibuya!!!」北本 李奈 東京都立総合芸術高等学校 1年



「再生」梨本 朋花 中越高等学校(新潟県) 3年



「八月十五日」池田 雪乃 山口県立下松高等学校 2年



TopEye
フォトコンテスト 2018年度
順位発表!

最優秀賞 和歌山県立神島高等学校 1位 410ポイント

優秀賞 沖縄県立浦添工業高等学校 2位 330ポイント

敢闘賞 東京都立総合芸術高等学校 3位 240ポイント

- 4位 中越高等学校(新潟県) 220ポイント
- 5位 神奈川県立瀬谷高等学校 210ポイント
- 6位 香川県立坂出商業高等学校 190ポイント
- 7位 宮城県白石工業高等学校 180ポイント
- 関市立関商工高等学校(岐阜県)
- 9位 広島県立庄原格致高等学校 170ポイント
- 山口県立下松高等学校

(以下、獲得ポイント順)大阪府立生野高等学校/帝塚山学院中学校高等学校(大阪府)/静岡県立伊東高等学校/大阪府立成城高等学校/八代白百合学園高等学校(熊本県)/群馬県立富岡実業高等学校/愛知県立一宮南高等学校/奈良県立王寺工業高等学校/北海道帯広工業高等学校/熊本県立第二高等学校 他

2018年度のポイント獲得校 80校!

TopEye 2/1 ~ 2/3

全国高校生写真サミット2019

密着
レポート!!

審査員はプロ写真家の先生方



小林 紀晴先生 藤岡 亜弥先生 秋元 貴美子先生 熊切 大輔先生 ミゾタユキ先生



●公式サポーター
横浜清風高等学校(神奈川県) 写真部の皆さん
●運営協力
東京工芸大学芸術学部
日本大学芸術学部 の皆さん

全国から選抜された
15校の写真部が、
横浜に集結!



宮城県白石工業高等学校
會田 月音さん、佐藤 希乃花さん、片桐 菜那さん、八嶋 圭吾先生



中越高等学校(新潟県)
川又 圭人さん、小片 彩香さん、高井 帆香さん、松田 浩明先生



東京都立総合芸術高等学校
毛部 川天さん、柚木 日菜子さん、北本 李奈さん、庄司 美子先生



神奈川県立瀬谷高等学校
高山 優衣さん、伊藤 ちひろさん、今関 賢伸さん、石川 順一先生



静岡県立伊東高等学校
前田 隆成さん、鶴田 弥弓さん、四之宮 豪さん、加藤 匠先生



愛知県立一宮南高等学校
須田 楓香さん、伊藤 桃子さん、増田 千咲さん、矢満田 道之先生



関市立関商工高等学校(岐阜県)
田口 紗希さん、江川 愛さん、平田 莉奈さん、井戸 俊博先生



大阪府立生野高等学校
室山 理奈さん、生駒 侑夏さん、榎田 晴香さん、吉田 允彦先生



大阪府立成城高等学校
山本 優花さん、西脇 亜美さん、眞岡 綺音さん、山口 晴久先生



和歌山県立神島高等学校
岡崎 ひなたさん、伏見 凜音さん、十林 穂乃香さん、恵那 崇先生



広島県立庄原格致高等学校
福村 春輝さん、松本 桃果さん、森田 レオナさん、長谷川 智洋先生



山口県立下松高等学校
池田 雪乃さん、高松 志帆さん、橋本 真衣さん、藤井 孝美先生



香川県立坂出商業高等学校
唐渡 祐汰さん、重村 星空さん、田中 沙奈さん、小川 晃俊先生



八代白百合学園高等学校(熊本県)
池邊 奈央さん、高濱 礼実さん、坂田 葵寿弥さん、中西 琢也先生



沖縄県立浦添工業高等学校
玉城 姫乃さん、儀間 梨々香さん、大城 聖南さん、大城 仁美先生



チーム作品 テーマ
「時代」

自由撮影

横浜の街を2日間歩き
回って、出会い、
考え、撮る!

アドバイスタイム

人物撮影のコツを、
プロ写真家がレクチャー。

真剣!!

作品セレクト

持ち込み
写真
講評会

日頃の作品を、5人の写真家が
鋭く講評・アドバイス!



プレゼンテーション

チーム作品を5人のプロ写真家に
プレゼンテーション!



写真サミット名物
「TopEye マカロン&
ハンバーガー」

懇親会

写真仲間どうし、話はずむ!

プロ写真家
によるフォト
レビュー

5人の先生方が、「これまでの自分」
を語り合う!

特別講演
藤岡亜弥
先生

「私と写真」をテーマに
お話をいただきました。

表彰式

2日間の成果が結実!
おめでとう!



2018年度「TopEye フォトコンテスト」
年度賞の表彰も行われました。

また来年、横浜で会いましょう!!



TopEye全国高校生写真サミット2019

TopEye全国高校生写真サミット2019 優秀作品発表!!



各校のメンバー3名による
組写真で競う部門

テーマ「時代」



グランプリ

賞品 賞状、橋、D7500 18-140VR レンズキット

関市立関商工高等学校 (岐阜県)
「Teen's Eyes」



田口 紗希さん、江川 愛さん、平田 莉奈さん、井戸 俊博 先生



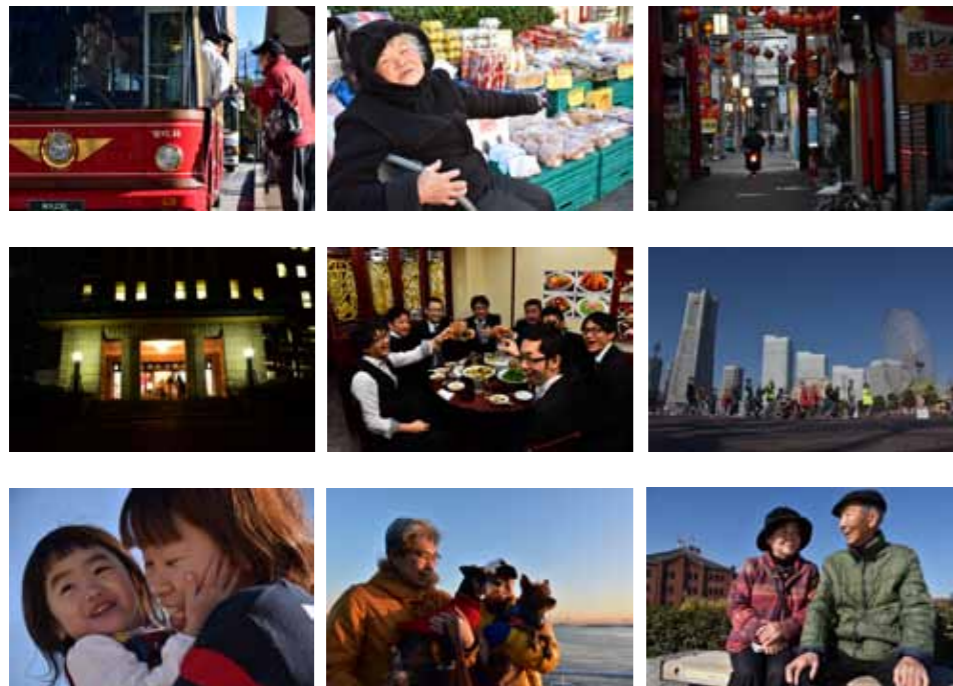
準グランプリ 大阪府立成城高等学校 「アイノカタチ」

賞品 賞状、橋、D5600 18-140VR レンズキット



優秀賞

賞品 賞状、橋、D3500 18-55VR レンズキット



広島県立庄原格致高等学校
「変わらぬもの、横浜」

香川県立坂出商業高等学校
「横浜の時代」

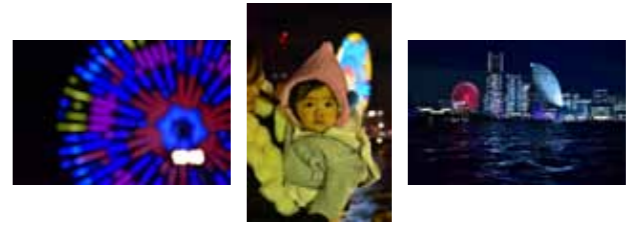
沖縄県立浦添工業高等学校
「いつも隣に」

Be a Photographer 賞
賞品 賞状、アーバンボストンバッグ L



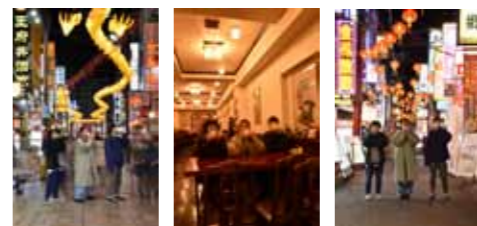
愛知県立一宮南高等学校
「横浜 過去～現在～未来」

横浜市文化観光局長賞
賞品 賞状、Nikon X MILLET カメラリュック MARCHE 23 II



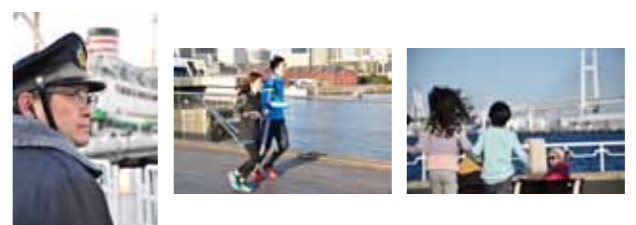
山口県立下松高等学校
「ミライの行方」

高等学校文化連盟全国写真専門部賞
賞品 賞状、高精細デジタルパネル搭載ポータブル DVD プレーヤー



東京都立総合芸術高等学校
「ひとかじり」

エプソン賞
賞品 賞状、エプソンプリンターカラリオ ミー PF-71



神奈川県立瀬谷高等学校
「Builder」

スリック賞
賞品 賞状、スリック スタンドポッド7



八代白百合学園高等学校 (熊本県)
「それぞれの現在」

フォトシティさがみはら実行委員会賞
賞品 賞状、露口啓二 写真集「地名」



大阪府立生野高等学校
「繰り返しの日々」

北海道「写真の町」東川町賞
賞品 賞状、オリジナルフォトフレーム



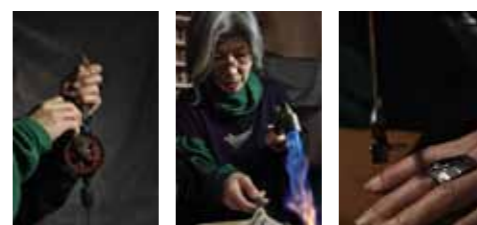
静岡県立伊東高等学校
「Change YOKOHAMA」

全日本写真連盟賞
賞品 賞状、オリジナルキルティングカメラケース 3点セット



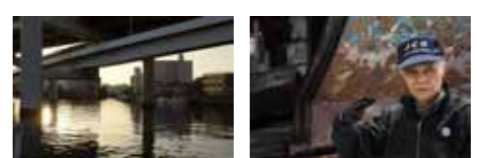
宮城県白石工業高等学校
「中華街と共に」

日本報道写真連盟賞
賞品 賞状、長倉洋海 写真集「地を駆ける」



和歌山県立神島高等学校
「銀齡」

読売新聞東京本社賞
賞品 賞状、読売報道写真集



中越高等学校 (新潟県)
「あんな時代も有ったねと」



個人賞

参加者それぞれの
単写真で競う部門



小林紀晴賞 室山 理奈
「仕事終わりに」
[大阪府立生野高等学校]



藤岡亜弥賞 高濱 礼実
「朝の習慣」
[八代白百合学園高等学校 (熊本県)]



秋元貴美子賞 橋本 真衣
「わたしを甘く見るなよ」
[山口県立下松高等学校]



熊切大輔賞 池邊 奈央
「これからどうする？」
[八代白百合学園高等学校 (熊本県)]



ミゾタユキ賞 眞岡 綺音
「わたしの勝ち」
[大阪府立成城高等学校]



横浜市長賞 四之宮 豪
「歩み」
[静岡県立伊東高等学校]



優秀賞

賞品 賞状、Nikon×MILLET カメラリュック MARCHE 23II

片桐 茉那「日常」[宮城県白石工業高等学校] / 川又 圭人「遊」[中越高等学校(新潟県)] / 高井 帆香「YOKOHAMA girl?」[中越高等学校(新潟県)] / 小片 彩香「散歩道」[中越高等学校(新潟県)] / 高山 優衣「残香」[神奈川県立瀬谷高等学校] / 山本 優花「なにをとってるの?」[大阪府立成城高等学校] / 十林 穂乃香「いやだ」[和歌山県立神島高等学校] / 稲村 春輝「街角ロックンロール」[広島県立庄原格致高等学校] / 高松 志帆「銀河線路」[山口県立下松高等学校] / 玉城 姫菜乃「冬の光」[沖縄県立浦添工業高等学校]



敢闘賞

賞品 賞状、NikonDirect ニコン キャンバストート

會田 月音、佐藤 希乃花[宮城県白石工業高等学校] / 毛部川 天、柚木 日菜子、北本 李奈[東京都立総合芸術高等学校] / 伊藤 ちひろ、今関 賢伸[神奈川県立瀬谷高等学校] / 前田 隆成、鶴田 弥弓[静岡県立伊東高等学校] / 須田 楓香、伊藤 桃子、増田 千咲[愛知県立一宮南高等学校] / 田口 紗希、江川 愛、平田 莉奈[関市立関商工高等学校(岐阜県)] / 生駒 侑夏、窪田 晴香[大阪府立生野高等学校] / 西脇 亜美[大阪府立成城高等学校] / 岡崎 ひなた、伏見 凜音[和歌山県立神島高等学校] / 松本 桃果、森田 レオナ[広島県立庄原格致高等学校] / 池田 雪乃[山口県立下松高等学校] / 唐渡 祐汰、重村 星空、田中 沙奈[香川県立坂出商業高等学校] / 坂田 葵寿弥[八代白百合学園高等学校(熊本県)] / 儀間 梨々々香、大城 聖南[沖縄県立浦添工業高等学校]



顧問優秀賞

賞品 賞状、ニコムミュージアム オリジナル手ぬぐい

矢満田 道之「トライアングル」[愛知県立一宮南高等学校] / 井戸 俊博「ノスタルチア」[関市立関商工高等学校(岐阜県)] / 山口 晴久「眩しさ」[大阪府立成城高等学校] / 恵那 崇「舌モデル」[和歌山県立神島高等学校] / 藤井 孝美「落ちていくラビンス」[山口県立下松高等学校]

視想講座

vol.293 今道しげみ

光を「読む」と、写真はずっときれいになる



いろいろなことに興味を持つ子供でした。スポーツに音楽、それから絵も大好きで。色彩に強いこだわりがあり、おまごとの紙粘土細工で、野菜の色をちゃんと出そうと何度も絵の具を調合したことを思い出します。

夫の赴任でロンドンに住んでいる時、「ここでしか学べないことを」と思って始めたのが、まだ日本で知られていなかったフラワーアレンジメントでした。友人と子供を預け合うなど時間をやりくりしてスクールに通い、講師の資格を取得。作品の記録のためにコンパクトカメラで撮影していましたが、きれいな写真をポストカードにして生徒さんに差し上げたいと思うようになり、帰国後に一眼レフを入手しました。

目指したのは、ヨーロッパの雑誌のような美しい写真。ですが「花」と言えば屋外で撮る時代で、私が撮りたい写真を学べる場が見つかりません。結局、10年ほどかけて自分で撮り方を確立しました。その頃は日本でもフラワーアレンジメントが人気になり、「私のように写真に残したい人は多いはず」と撮影教室もオープン。たくさ

んの生徒さんに来ていただいています。私の写真は自然光を使います。アレンジした花を窓際にレイアウトして、レースのカーテンなどで柔らかな光を作り、レフ板などで最も美しく見えるようコントロールします。難しい技法も使いますが、少し光を工夫するだけでも、仕上がりは驚くほど変わってきます。

皆さんも光に気をつけて、室内で身近なものを撮ってみてはいかがでしょうか。デジタルなら何枚も撮れるし、仕上がりがその場で分かる。様々な設定を試しながらたくさん撮るうちに光が「読める」ようになり、風景や人物写真など全てに応用できます。撮影がずっと楽しくなりますよ。

写真は「撮りたいもの」を撮るのが大事。そうするうちに自分が大切に思うものが分かってきて、前に進むためのヒントにもなります。ぜひ続けてくださいね。

最近、好きだった美術館通いをまた始めました。古典的な絵画の手法に改めて学び、アーティスティックでありながら多くの人に親んでもらえる写真へ、さらにステップアップできたらと思っています。

今道しげみ

Profile

(いまみち・しげみ)
1963年三重県松阪市生まれ。神戸女学院大学を卒業後、全日空のCAとして勤務。1990年よりロンドンでフラワーデザイナーとして活動を始める。2005年に、東京・久我山で女性向けの一眼レフ講座の先駆けとなる フォトスクール [LIVING PHOTO] をスタートし、定期的に開催。暮らしの中のシーンを美しく切り取る [LIVING PHOTO] を独学で考案し、商標登録も取得。
WEBサイト: livingphoto.jp



ガンバリ 写真部!!

東京郊外の都立瑞穂農芸高等学校は、校門のあたりから富士山が見える素敵なロケーション。好奇心モリモリ、好きなことサマザマな写真部の面々ですが、部としては「チーム」も意識して色々活動しているご様子。さで…

東京都立瑞穂農芸高等学校



後列：顧問の酒井先生、高山さん、関谷さん、世本さん、大内さん、柳下さん、持田さん、馬籠さん
中列：高橋さん、原田さん、小川さん、伊藤かなえさん、笹尾さん、吉岡さん、田中さん
前列：志村くん、峯岸くん、戸崎くん、伊藤黎くん

部員：25名(三年13名、二年5名、一年7名)
歴史：2012年、1名の同好会からスタート。部員を増やして大会に出品し、校内展示も始めるなど盛んに活動して、その年に部員10名の部に昇格!都高文連大会や関東大会、高総文祭にも進出して現在に至る。
活動：平日は不定期で撮影会の写真を整理したり見せ合ったり、土・日はほぼ毎週校外で撮影会。
機材：部にはデジタル一眼レフカメラ4台、A3プリンタ1台。多くの生徒が自分のカメラ所有。
部費：学校の年間予算が約8万、ほぼインクと用紙で使い切ります。
部費節約の展示形態に合わせて高い用紙と安い用紙を使い分ける…ポイント：など。

好奇心そそる ぜいたくな撮影環境!
「では、校内のどこかで撮影を」と歩いていくと、かわいいポニーに乳牛、豚さん、羊にハムスター…と動物いっぱい。畑にもキャベツにネギ、大根などの旬野菜が育ち、被写体には不自由しない感じ。加えて「農業高校って、結構いろんな興味を持つ子が集まるんですよ」と先生。3年生の進路を聞いてみたら、動物病院の看護師に歯科助手、自動車メーカー、スタイリストなど、かなり多彩。「いろんな被写体+いろんな興味」って、写真やるにはモッテコイですね!

きれいな水や光、人の表情など「パツと輝いて見える」被写体が好き。
鉄道が好きで、最近は郡山や新潟に撮影旅行。初めて行くところって楽しいですね!
見守り、支えて、フォローする副部長の志村くん
まじめで、まめで、責任感あふれる部長の笹尾さん



- 瑞穂農芸高校写真部 最近の活躍**
高文連大会を中心に、着実にステップアップ中!
- 18年度
 - ★都高文連大会(夏のみ) 最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作2名
 - ★2018信州総文祭 2名出場
 - 17年度
 - ★都高文連大会 最優秀賞3名、優秀賞3名、佳作7名
 - ★清瀬ひまわり写真コンテスト グランプリ
 - ★高文連関東大会 3名出場
 - 16年度
 - ★第182回TopEyeフォトサロン 佳作
 - ★都高文連大会 年間優秀賞1名、最優秀賞2名、優秀賞1名、佳作3名
 - ★清瀬ひまわり写真コンテスト グランプリ
 - ★高文連関東大会 3名出場
 - 15年度
 - ★都高文連大会 佳作1名



部活だから、チームスレイも!

「撮影は個人活動になりがちだけど、部活なんだから」ということで、チームを意識した活動も。たとえば、文化祭にはみんなの作品を組み合わせる「モザイクアート」制作。年2回の都高文連の大会後はみんなで食事会。そして部全体の目標は、「卒業までに学年全員が表彰されること」!今年度の3年生はみごと達成したそうです。やったね!2年、1年のみんなも頑張ろうぜ!

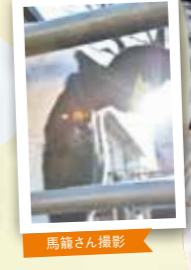
気心の知れた友達とは、気がゆるむ瞬間が分かるので、自然な表情が撮りやすいです。
日本を楽しむ外国人を撮りに、川越へ、横浜へ、明治神宮へ…etc.



土日はほぼ毎週、東京周辺で撮影会!

スタジオ撮影は、小物や照明に凝れるから楽しいよ!

仲のいい女の子どうしの写真が好き。あ、男の子どうしもたまに(笑)



のどかな キャンパスで、写真ゴコロ磨きまくり!



自分の感覚にぴったりの色・構図を見つけた時、すごく嬉しいです。



厳しめの批評も前向きに吸収!

「改善点は、結構ビシッと言います」と顧問の先生。「もっとこだわるべきだったという後悔が、次に活きますから」…そういう厳しさってどう?と部員さんに聞くと、「はっきり言ってもらえてありがたい。良い作品はちゃんとほめてくれますし」との声が多くてアツパレ。もちろん人の意見を聞いただけじゃなく、自分なりの上達法や撮影テーマもきちんと持っていて、それぞれに教えてくれました(みんなのコメントを見てね)。個性さまざま、でも前向きな気持ちは同じ!だね。



牛を撮るなら、「下からの正面顔」がいちばん可愛く撮れますよ!



風景に、空き缶などの無機物を組み合わせ、社会のはらむ問題を表現したい。

部員さんに聞いたよ!

- 「上達するため、何してますか?」
- ・コンテストや大会の入賞作品を観る
 - ・撮影のアイデアを話し合う
 - ・作品を人に見せて意見を聞く
 - ・一つの被写体を、いろんなアングル、設定で撮ってみる
 - ・わからないことはすぐ先生に聞く!休日でも(笑)
 - ・写真展や写真雑誌をよく観る
 - ・大会などの撮影会場は事前に見て、撮影プランを練る



年2回の写真展を軸に、技術向上や交流に励む

東京都では、毎年2回の写真展を実施しています。今年度は、7月の地区大会(池袋)では一人1作品の応募で690作品、12月の中央大会(新宿)では一人2作品までの応募で集まった977作品から175作品を選抜し、それぞれ展示しました。応募作品数は年々増加しています。また、4月と10月に研修会、5月には新宿御苑で合同撮影会を実施しました。技術の向上だけでなく、他校生徒との交流も目指して取り組んでいます。



「ガンバリ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!! 編集部が学校に行って取材します。
ご応募は、メールで編集部まで topeye@nikon.com

TopEye デジタル写真教室

20回続いてきたこの教室も一区切りということで、これまで触れてきた撮影マナーや、コンテスト応募の注意事項を総まとめ!



これまでの作例の一部を掲載したよ。バックナンバーで振り返って、参考にしな!

今月のテーマは...

「マナー」や「ルール」を守って楽しく活動を!

Lesson 1 撮影マナーは、人としての礼儀!

基本はコミュニケーション。そして、「自分がイヤなことは人にもしない」だよ。

人物写真

まずは笑顔でごあいさつ

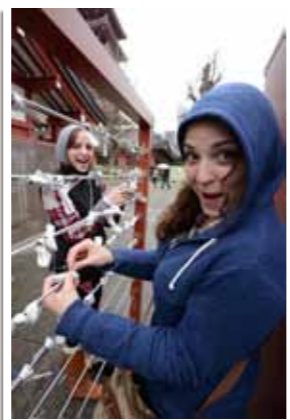
いきなりカメラを向けるのは失礼だし、警戒されることも。笑顔で挨拶してコミュニケーションに努めよう。

撮影の目的を伝え、OKをもらう

部活であることやコンテスト出品など、撮影の目的を伝えよう。子供の写真は、保護者の承諾をもらってね。

撮ったら相手に見せてお礼を

撮影が終わったらモニターで写真を確認してもらう。住所を聞いて、できた写真をプレゼントするのもいいね。



2014年 6-9月号より

コミュニケーションを取れば、こんな素敵な表情も! 後ろ姿や、不特定多数の人が写る場合は、承諾はもらわないよ。

イベント、お祭り、試合など

会場の決まりを厳守

立入・撮影禁止の場所やフラッシュを使って良いかなど、前もって確認しよう。また、主催者の指示にも従ってね。

観客のジャマをしない

普通に観にきている人もたくさんいる。自分の撮影が彼らの鑑賞の妨げにならないよう配慮しよう。

譲り合いの精神で

キミの他にも、撮りたい人がたくさんいるはず。良い場所を独占せず、撮り終わったら他の人に譲ろう。

お祭りや儀式は静かに撮ろう

静寂が必要とされる場では、シャッター音にも配慮。状況を見極めて、迷惑にならないようにね。



試合やイベントには望遠レンズが活躍! 2017年 10-11月号より

道路や公共の場所

立入禁止の場所をチェック

車道や線路での撮影は法律違反の場合も。立ち入れない場所をチェックし、店や施設での撮影は許可を取ろう。

三脚、フラッシュの使用にも注意

狭い場所や通路では、三脚が通行のジャマになることも。また夜間走行中の車にフラッシュを使うのも視界を妨げて危険だ。

小物はしっかり管理

レンズキャップや撮影小物が車道などに落ちると、交通妨害になることも。うっかり落とさないようにね。

第三者のジャマにならないように

撮影OKの場所でも、撮影方法などが他人のジャマにならないか、配慮しながら撮影を進めようね。



歩道橋の上や道路脇などで撮る時は、周囲に注意!! 2018年 10-11月号より

Lesson 2

「類似作品の応募」「二重応募」に注意!

どんなコンテストでも厳しく禁止しているのがこれ。たとえ良い作品でも入賞取り消しになるので気をつけて! 2015年10-11月号で特集。ぜひ復習を!

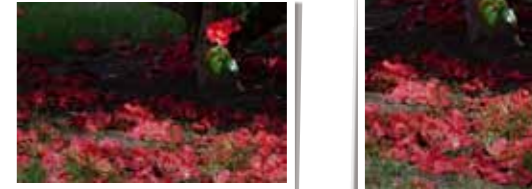
類似作品とは 他の作品とほとんど違いがない作品のこと

NG例: トリミングやアングルの違い



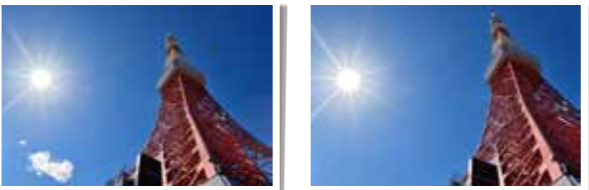
作品A 作品B

NG例: 縦・横位置の違い



作品E 作品F

NG例: 画像の加工で要素を追加・消去したもの



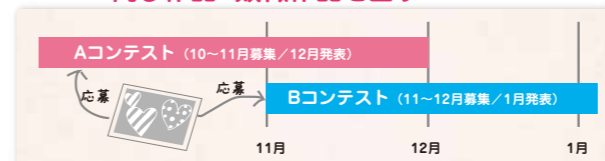
作品C 作品D

顧問の先生と一緒に確かめてね!



二重応募とは 同じ作品を複数のコンテストに応募すること

NG例: 同時期のコンテストに同じ作品・類似作品を出す



NG例: 受賞済みの作品を他のコンテストに出す



Lesson 3

「TopEyeフォトコンテスト」応募上のおもな注意

最後に「TopEyeフォトコンテスト」の応募作品にありがちなルール違反やミスを紹介。

応募用紙の募集要項をよく読んでね! 応募用紙はTopEye WEBサイトからダウンロードできます。

✓ スマホ写真は対象外

カメラ付き携帯電話などで撮影した写真は受け付けていません。



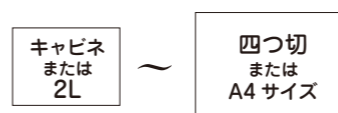
✓ プリントは「フチ(余白)あり」設定で



「フチなし」だと、両サイドの画像が一部切れるかも!

余白がないと、角が傷つくよ!

✓ 写真のサイズをよく確認しよう



✓ 組写真は4枚組まで

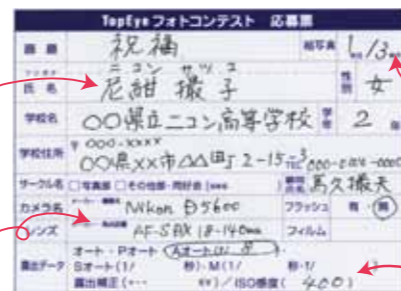


「縦位置組」か「横位置組」のどちらかに統一。

各写真のトリミングの比率を揃えよう。

写真はつなげて、応募票に並び順を明記。

✓ 応募票の記入モレに注意!



氏名・学校名は楷書で読みやすく。

組写真の場合は並べる順番も書いてね。

一眼レフやミラーレスカメラの場合は、レンズの焦点距離も忘れずに。

露出データ・ISO感度は記入漏れ多し。気をつけて!

来年度からも、簡単にできる面白い技法をたくさん試していこう。どうぞ期待!



講師/高藤 勝則

来年度も、作品大募集!!

NEWS

来年度から新審査員登場!

次回(6月号)「TopEyeフォトコンテスト」より、熊切大輔先生が審査員に加わり、藤岡亜弥先生との2人態勢で審査が行われます。



新審査員

熊切 大輔 (くまきり・だいすけ)
1969年東京生まれ。東京工芸大学短期大学部写真技術科を卒業後、日刊ゲンダイ写真部に入社。事件・スポーツ等を担当する。その後フリーランスとして独立。広告や雑誌等で「ドキュメンタリー」「人」「食」などをテーマに幅広い分野で活躍中。写真教室講師等も務める。公益社団法人日本写真家協会会員。

第26回 先生だけのTopEyeフォトコンテスト

4月号掲載

毎年4月号で行う、写真部顧問の先生方を対象としたフォトコンテスト。生徒さんに負けず、どしどし応募ください!!

応募締切
3/10(日)
(当日消印有効)

2019年度 TopEye フォトコンテスト

6・10・12・2月号掲載

来年度も6月号から4回にわたり「TopEyeフォトコンテスト」を行います。全国各校からのご応募お待ちしております!

どちらのコンテストも
応募用紙は
WEBでダウンロード

www.nikon-image.com/activity/topeye



応募用紙をよく読んで
ご応募ください

【お願い】
記載項目が変更されることがありますので、常に最新の応募用紙をご利用ください。

宛先

〒354-0045
埼玉県入間郡三芳町上富1141-10
ニコンカレッジ・

「TopEye フォトコンテスト」係 / 「先生だけのTopEyeフォトコンテスト」係

※TopEye 編集部宛先とは異なります。ご注意ください。

TopEye 読者1年間の傑作をイッキ見!

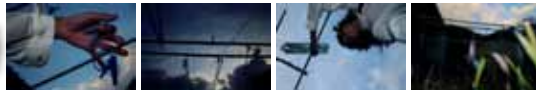
2018年度「TopEyeフォトコンテスト」入賞作品展

1年間の集大成!

「TopEye全国高校生写真サミット2019」優秀作品展

強豪15校の力作をじっくり!

2018年6-9月号 TopEye賞



「青と洗濯」
坂本 望愛 さん
[和歌山県立神島高等学校]

2018年10-11月号 TopEye賞



「はらぺこモンスターズ」
我那覇 日菜 さん
[沖縄県立浦添工業高等学校]

2018年12-1月号 TopEye賞



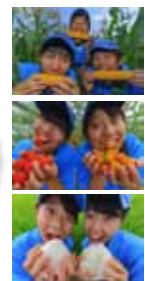
「Party」
柚木 日菜子 さん
[東京都立総合芸術高等学校]

2019年2-3月号 TopEye賞



「Sleeping time」
八幡 梨花 さん
[沖縄県立浦添工業高等学校]

2018年4-5月号 Top Teacher賞



「ミライ☆モンスター」
布目 紀佳 先生
[群馬県立富岡実業高等学校]

新宿

3月19日(火)～3月25日(月)
10:30～18:30 (日曜休館・最終日は15:00まで)
ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2
東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー28階
ニコンプラザ新宿 ☎03-3344-0565

大阪

4月18日(木)～4月24日(水)
10:30～18:30 (日曜休館・最終日は15:00まで)
ニコンプラザ大阪 THE GALLERY
大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザ ウェスト・オフィスタワー13階
ニコンプラザ大阪 ☎06-6348-9698

講習会レポート

1/30

平成30年度 第3回高文連石狩支部 写真専門部顧問会議 技術講習会

会場：市立札幌新川高等学校(北海道) 大会議室
講師：浅野 久男 氏

写真部顧問の先生方を対象に、「初心者への写真指導の基礎」をテーマとした講習会を開催。石狩支部の写真展の審査員でもある浅野先生が、軽妙な語り口で内容の濃い講義を展開されました。各校のさらなる写真力アップを期待しています。

「ニコンカレッジ」基礎編テキストをご活用いただきました。



ニコンプラザ 写真展 NEWS

TopEye 読者 OB、OG もたくさん進学している写真学校が一堂に会し、卒業制作作品を展示!

ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

写真学校3校による卒業制作展 2019

2/28(木)～3/6(水)
10:30～18:30 (日曜休館・最終日は15:00まで)
大阪芸術大学写真学科
日本写真映像専門学校
ビジュアルアーツ専門学校・大阪 写真学科

ニコンプラザ新宿 THE GALLERY 1+2

写真学校8校による卒業制作展 2019

Vol.1 3/5(火)～3/11(月) Vol.2 3/12(火)～3/18(月)
東北芸術工科大学
武蔵野美術大学映像学科
日本大学芸術学部
東京工芸大学
東京総合写真専門学校
京都造形芸術大学通信教育部
日本写真芸術専門学校
東京工芸大学
東京ビジュアルアーツ



「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコン イメージング ジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL: 03-6718-3020